

シリーズ石見銀山②^{とよ さか じん じゃ} 豊栄神社 —毛利氏ゆかりのお社—

銀山公園から龍源寺間歩へ至る道の中ほどに建つ豊栄神社には、幕末の慶応3年（1867年）に長州藩より寄進されたことで知られる社殿が残ります。このお社、もとは長安寺という寺院のなかに毛利元就を祀る御霊社として建てられたもので、明治3年（1870年）に寺院から神社へとかえられたのでした。

長安寺の寺伝^{じでん}では、元亀2年（1571年）、元就の孫輝元が山吹城内に安置してあった木像に戦火が及ぶことを危惧して移すため、城下の下河原^{しもがわら}へ洞春山長安寺を建立したとされます。江戸時代を経て、幕末には、進駐した長州軍が元就の木像が祀られていることに感激し修復を行いました。かつては「銀山百ヶ寺」といわれるほど、石見銀山には数多くの寺院がありました。そのなかの一つである長安寺は、戦国期の毛利氏による建立にはじまり、幕末に再び長州藩の手で復興・再建され



▲土蔵造りの本殿

[問い合わせ]
大田市教育委員会
教育部石見銀山課
☎0854-83-8133



▲拝殿の彫刻

るという運命的な歴史をたどってきました。まさに銀山支配の転機と大きく関わった寺院・神社として、石見銀山の歴史においても重要です。

このような由緒をもつ豊栄神社は、かつては多くの地域住民によって支えられ、大正年間には約500戸の信徒がいました。しかし近年の過疎化により、神社の維持はしだいに困難になりましたが、地元の人々の努力によって守られてきました。

境内には、本殿、拝殿、隨身門や土塀の一部が残ります。かなり傷んだ状態ではありますが、細部の造りや彫刻を眺めると、当時、大森・銀山などで活躍した腕利きの宮大工の仕事であることがわかります。また、本殿が寺院の経蔵のような方形^{ほうぎょう}の土蔵造りである点に、長安寺の御霊社としての名残も見て取れます。現在は国史跡石見銀山遺跡の構成要素となっている、貴重な文化財です。

豊栄神社を守ろうと、現在地元の皆さんによる保存の機運も高まっています。文化財である社殿を未来に引き継いでいくよう、これからの取り組みが大切となってきます。

「にまちょう琴音ちゃん」^{ことね}に会いに帰ってきてね!!

昨年7月、定住促進と若者の地域参加を目的に、「仁摩で恋活（婚活）」イベントがサンドミュージアムと琴ヶ浜を主会場として行われました。このイベントを企画したのは、「仁摩で恋活実行委員会」。町内事業所の若者と仁摩地域まちづくり委員会で組織され、約1年間の準備作業やイベントの開催を通して幅広いネットワークと一体感が生まれました。同実行委員会では、さらなるステップアップを目指し、地域をもっと元気にしようと、次は『仁摩地域活性化シンボルキャラクター』を作成することになりました。

9月から募集をし、大田市内在住者から44点の応募があり、その中から、仁摩町民の投票により長見和美さん（仁摩町天河内）作品の「にまちょう琴音ちゃん」に決定しました。

今後、「にまちょう琴音ちゃん」を活用して、仁摩町をどんどんPRしていきます。お披露目は3月8日（日）の山陰道仁摩・温泉津道路全線開通記念イベントです。みなさんに会えるのを楽しみに待っています！



プロフィール

住 所：大田市仁摩町馬路
琴ヶ浜

誕生日：11月2日

年 齢：永遠の10歳

♪ 琴は弾けないけど聴くのは大好き♪

♪ 手のひらのハート♡にタッチすると幸運が訪れるかも!? しれないので、みなさんタッチしてくださいね!